

高病原性鳥インフルエンザの情勢

- ◆1月27日に京都市内で衰弱して発見された野鳥(ノスリ)からA型鳥インフルエンザウイルスが検出されていたところですが、この度、高病原性H5亜型であることが確認されました。
- ◆現在、京都府及びその周辺地域は高病原性鳥インフルエンザの発生リスクが高い情勢にあると考えられます。

死亡野鳥等での発生

R3.11.8～R4.1.27

5道府県15例で発生

家きん農場での発生

R3.11.10～R4.1.26

9県15農場で発生



- ◆飼養衛生管理基準の遵守と家きんの異常を認めた際の即通報の徹底をお願いします。